

校長室より～「山吹の風」 No.35 R6.3.22～

桜の木々の鼓動が聞こえてくるかのような毎日です。ここ常陸太田の桜の開花も近いことでしょう。能登地方においても、厳しい冬を乗り越えて力強く咲き、美しい姿を人々に見せてくれることでしょう。今年の桜には特別な感慨を抱きそうです。

初花の薄べにさして咲きにけり 村上鬼城

さて、今日は後期終業式でした。「光陰矢の如し」とは申しますが、本当に月日がたつのは早いものです。この一年で学び得たこと、やり残したことなどを春休みに思い返し、4月からのスタートに生かして下さい。何事にも素直でひたむきな皆さんのことです。今は花開かずとも、必ずやその日が来ます。「継続すること」「積み重ねていくこと」を大事にして下さい。



そして春というのは出会いと別れの季節。出会いも別れも世の常ではありますが、それを良いものとしていくか否かは自分の心次第です。まずはご縁があってともに過ごした方々に感謝の気持ちをしっかり伝えていきましょう。「感謝の言葉」という「美しい言葉」を。
(了)

ふるさとの駅の賑はひ初桜 幸恵

